放送番組審議会　第 151 回議事録

株式会社エフエム佐久平

1.開催日時　　令和 8 年 10 月 22 日(木)午前 10 時 30 分～午前 11 時 10 分

2.開催場所　　佐久平交流センター(佐久市佐久平駅南 4-1)　第 4 会議室

3.番組審議委員
出　　席：櫻井理絵(委員長)、山田博之(副委員長)、伊藤康弘、岡村潔(書面参加)
欠　　席：上田秀子、木内孝昭、宮澤博美

4.放送事業者
出　　席：前島正彦(渉外営業課長)

5.議　　題
審議番組：キモノ・ダイアリー　～和の心、今の彩り～
放送日時：令和 8 年 10 月 20 日(火)17 時 30 分～17 時 45 分
内　　容：5 月から始まった新番組。着こなすのはなかなか難しいと思われがちな着物の魅力及び和文化を伝える雅な番組。
季節の先取りと「日常の彩り」も含め、和装の魅力を楽しく伝えていきます。

出 演 者：なかむら呉服店(佐久市・岩村田)　中村直子さん

6.議事の経過
開　　会：渉外営業課長　前島
番組聴取：事務局　前島より番組概要を説明し、対象番組を聴取
審　　議：(委員からの意見・感想)：各委員より、審議番組に関する意見が述べられた
閉　　会：次回開催日程を確認し、散会

7.議事内容(要旨)
審議番組：キモノ・ダイアリー　～和の心、今の彩り～
委員 A
・全体的にわかりやすく、コンセプトも伝わり良い番組だった。
・七五三の男女別の対象年齢の説明をもう少し詳しく紹介しても良かったと感じた。

委員 B
・コメンテーター中村氏のトークもわかりやすく、丁寧で聞きやすかった。
・聞き手も話の引き出し方が上手で楽しかった。
・中村氏のキャスティングも地域密着性があり、和文化を伝える主旨も興味深い。

委員 C
(質問)
・この番組の放送ペースは
(回答・事務局)
・毎月 1 回、夕方情報番組内の 1 コーナーである。
委員 C
・着物は母から受け継ぐという親子も多い。
流行もあるが時間を越えて代々継がれていく。とても大切だと感じる。
良い番組企画だと思う。
・今回は七五三の話の為、もう少し早い時期の放送でも良かったのではないか。

委員 A
・七五三特集は一回だけではなく、複数回放送があっても良いと感じる。
・自分の孫のことを思い出した。

委員 C
・私も懐かしく聞かせていただいた。15 分間はあっという間だった。

委員 A
・せっかくなので番組内で古くなった着物のリサイクル・リメイクなどの情報があったらまた紹介して欲しい。
・このような市民参加型の番組は地域エフエムの特長だと思う。
今後は企業からの求人情報など担当者が出演し紹介することにより、求人誌とは違った角度から情報紹介できるのではないかと思う。仕事を探している方にとってもエフエムを聞く事で細かな求人情報が入手できるなどの可能性も広がると思う。
(質問)
・エフエム佐久平のリスナー層は
(回答・事務局)
・およそであるが朝(7:00～9:00)・夕(17:00～19:00)は通勤・帰宅対象者が多く、日中は主婦層、自営商工業、移動中の営業職の方等が多い。

委員 B
・今回のラジオ番組のように、着物を通した親子の繋がり、思い出エピソード等とても大切だと感じた。以前に聞いた話だが、フォトスタンド等に記念写真を残し、常に見えるところに置くことが最大の思い出保存となるとの事。着物写真なども大切に保存して欲しい。

委員 D
・七五三のテーマも分かりやすく、親しみを覚えた。
・特別な日の装いとしてのイメージが先行し、着物は普段着として取り入れるには敷居が高いが、生活様式や体形にはマッチするはずである。一着は持っておきたいと感じた。
・気になるのは価格である。素材や仕立て方により値段はどう変わるのか？またそれによって着心地も変わるのか？流行りすたりはあるのか？など予備知識を提供いただけると

ありがたい。
・着物は永く着たいものである。日常的な手入れの方法や保管方法、履物などの関連商品などもご紹介いただければ楽しいと思う。また、小物や着こなし等《こうすれば着物上級者！》などの情報も聞いてみたいと感じた。

8.放送全般に関する意見
特になし

9.審議機関の公表について
本会議の概要は、委員、社員およびパーソナリティに公表し、ホームページに掲示する。
配布日及び掲示日　令和 8 年 11 月 4 日（水）

以上